

黒麹菌の学名が *Aspergillus luchuensis* になりました

黒麹菌は、1901 年に乾環博士が泡盛いぬいたまき麹よりはじめて分離し、琉球にちなんだ学名 *Aspergillus luchuensis* をつけた新種として報告されました。その後、中澤亮治博士が黒麹菌として *Aspergillus awamori* を提案するなどその学名に混乱が見られていました。また、欧州でクエン酸生産に利用されている *Aspergillus niger* の異名同種とする報告もありました。

この度、酒類総合研究所研究員を著者に含む黒麹菌の学名に関する論文 ([PLoS ONE, 8, e63769 \(2013\)](#)) が公開され、黒麹菌は *A. niger* とは別の種であり、その学名は *A. luchuensis* とすることが妥当であるとされました。また、*A. awamori* という種名は「doubtable(疑問)」とされました。

以上をふまえ、酒類総合研究所「[保有糸状菌株リスト](#)」を更新しました。